

● 議会答弁対応力向上研修 ●

実施期間	令和7年7月15日				
対象者	全職員	定員	36人		
目的・内容	行政の説明責任が高まるなか、議会対応における説明能力の向上を図る。				
講師（敬称略）	一般社団法人日本経営協会 講師 田鹿 俊弘（元 滋賀県草津市議会事務局次長）				
	9:50 10:00	11:50 12:50	17:00 17:05		
7/15 (火)	オリエンテーション	<p>1. 地方議会の役割 <講義と演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会の役割と議員の役割 ・地方分権改革と議会 ・議員の責任と議員への期待 <p>2. 議会との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> —管理者としての職場のマネジメント— ・議員の地位の特性 ・議員との良好な関係の構築 <p>3. 議会対応の基本 <講義と演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問通告書が提出されてから ・質問事項がよく理解できないとき ・質問議員との調整の範囲と手法 ・質問議員の真意を探る 	昼休み	<p>4. 答弁書の作成 <事例をもとにグループ演習・発表></p> <p>(1) 質問事項の取材</p> <ul style="list-style-type: none"> —答弁書作成の前に質問事項のポイントを押さえる— ・質問の出处を知る ・どういう答弁を期待されているのか ・答弁者の考えはどうか 等 <p>(2) 答弁書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> —議員に理解していただく答弁（書）を作る— ・質問事項に対する答弁漏れはないか ・一貫性、整合性に問題はないか ・法令に抵触、公約等に反していないか ・簡潔、明瞭な答弁か ・再質問の余地を残していないか ・答弁による行政責任（施策の実施義務）は発生するか <p>5. 委員会での答弁技法 <事例をもとにグループ演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会は台本なしの真剣勝負の場であることを理解しておく ・委員会に臨む前の心構えと準備しておくこと ・質問者を納得させる論理的な説明とは ・好感もてる答弁者の姿勢 	ふりかえり (アンケート回答)